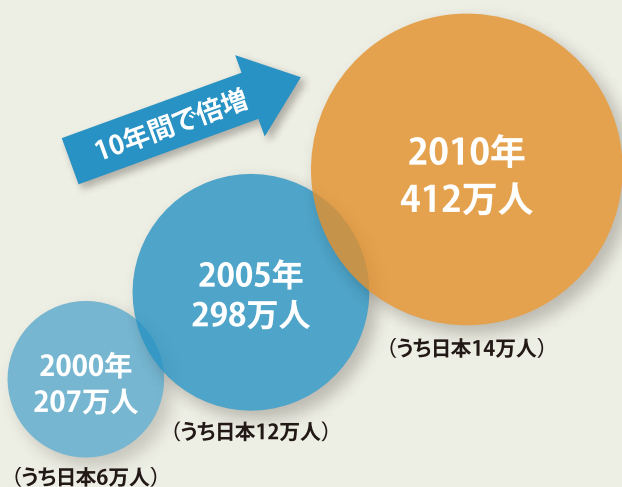


国立大学におけるグローバル化の推進

世界に開かれた魅力ある教育

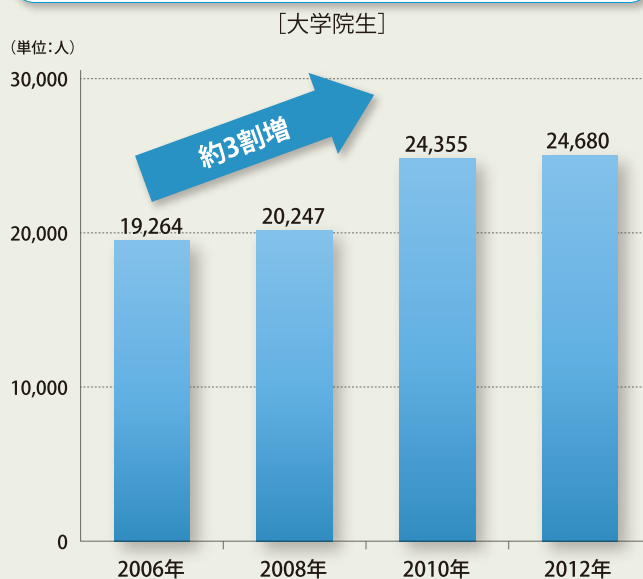
全世界の外国人留学生数



※OECD "Education at a glance 2012" Data Box C 4.1. 「日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」(各年度版)より作成

この10年で飛躍的に**拡大**する学生移動

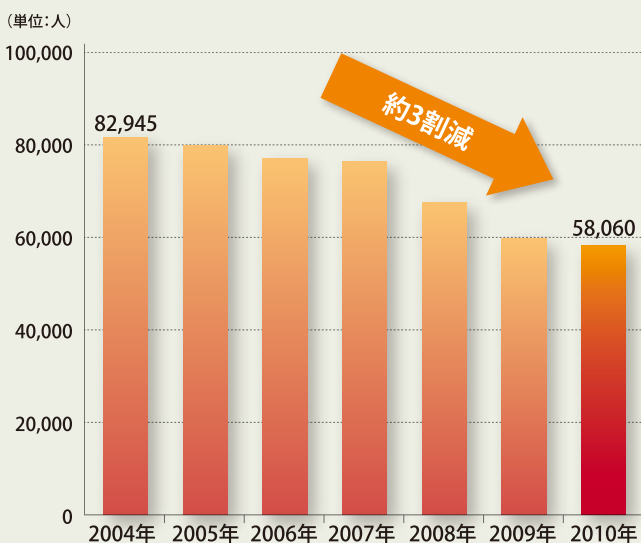
国立大学の外国人留学生数の推移



※日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」(各年度版)より作成

大学院における留学生数は**増加**

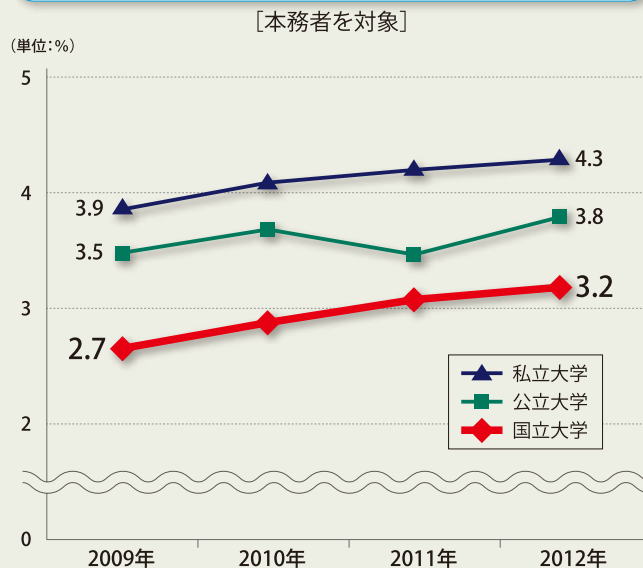
海外留学する日本人学生数の推移



※中央教育審議会大学分科会(第113回)配付資料(2013年4月4日)より作成

2004年をピークに日本人学生の海外留学は著しく**減少**

全教員数に占める外国人教員数の比率



※文部科学省「学校基本調査」(各年度版)より作成

国立大学は伸び率は**高い**が比率は**低い**

国立大学の国際化を更に進めるために

●世界に展開する多様な取り組みを推し進めています。

海外拠点

全国立大学合わせると**298箇所**

国際交流協定

国立大学全体では**8,000件**を超える

海外大学との単位互換

多くの国立大学(約**7割**)が実施

語学研修やサマースクール

多くの国立大学(約**8割**)が実施

外国人教員の積極的な新規採用

英語のみで卒業できるコース等を拡大

●達成目標を掲げ、教育の国際化を更に加速させていきます。

国立大学が掲げる2020年までの国際化の達成目標

国立大学協会 (2013年3月8日)

- ① **受入留学生数**の割合を学部と大学院合わせて 約5.8% → **10%**
- ② **派遣留学生数**の割合を学部と大学院合わせて 約2.2% → **5%**
- ③ **外国人教員(本務者)**比率 約3.2% → **倍増**
- ④ **英語での授業実施科目数**を学部と大学院合わせて 約12,000科目 → **倍増**
- ⑤ **国際化に関連した数値目標を設定する大学数** → **倍増**

●国立大学が更に国際化に取り組むため、国等による財政支援、制度改革が必要です。

環境整備のための財政支援の拡充

- ① 留学生宿舍の施設整備費補助の充実
- ② 受入留学生や派遣留学生への奨学金の拡充
- ③ 教職員の海外研修参加への財政支援の拡充

制度等の弾力化

- ① 公的資格試験の実施方法の柔軟化
- ② 採用時期の柔軟化(官公庁・民間企業等)
- ③ ジョイントディグリーの制度設定 など

世界と競い合う国立大学における研究

歴代のノーベル賞の日本人受賞者は
国立大学 出身者のみ

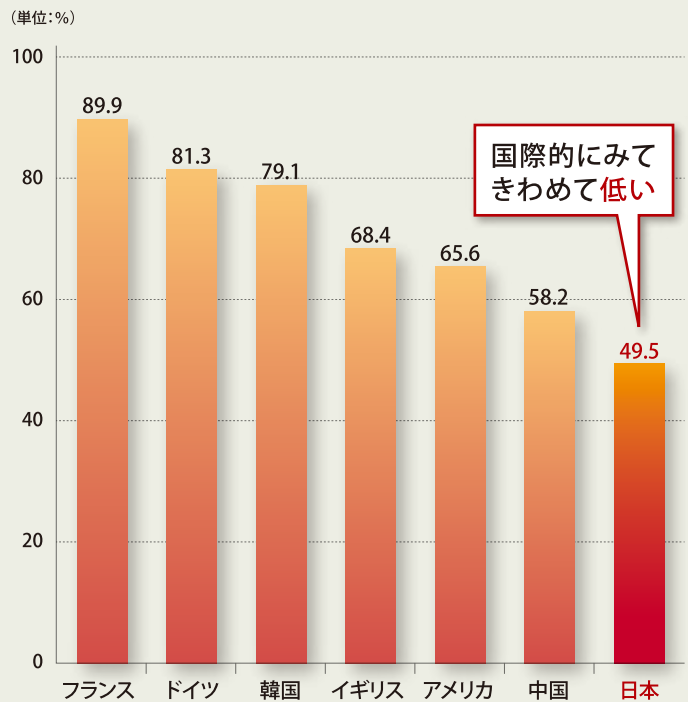


写真提供：京都大学IPS細胞研究所 (CIRA)

山中伸弥 京都大学教授
2012年 ノーベル生理学・医学賞 受賞

国立大学は、卓越した研究者が集い
世界トップレベルの研究拠点を形成

大学の研究開発費の政府負担割合の各国比較

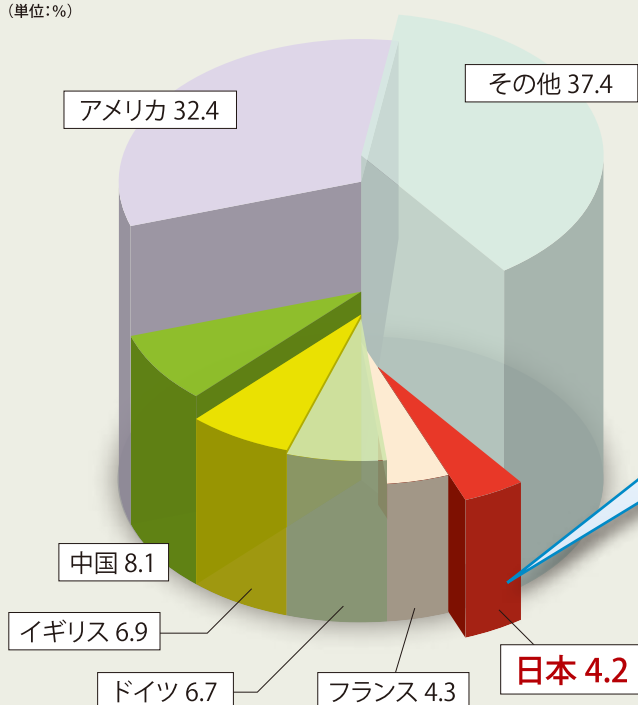


(注)ここでの「研究開発費」は、大学の「内部使用研究開発費」を示す。

※文部科学省科学技術政策研究所「科学技術指標 2012」(2012年8月)より作成

注目度の高い論文数のシェア [2009-2011年の3年平均]

(単位：%)



注目度の高い論文数シェアの世界順位

ここ10年で日本の順位が大幅に低下

4位 6.2% (1999-2001年)

ダウン

6位 4.2% (2009-2011年)

(注)ここでは、「Top10%補正論文数」を「注目度の高い論文数」とし、分数カウント法で算出された数値を参照した。「その他」には、韓国、シンガポールなどの国々を含む。

※文部科学省科学技術政策研究所「科学研究のベンチマーク2012」(2013年3月)より作成

わが国の「大学力」の基盤強化を担う国立大学

●国立大学は、個性・特色を生かした大学改革を進め、機能強化に努めています。

国立大学改革の強化・推進

【取り組み事例】

- 100人規模の外国人教員を採用し、教養科目の半分以上を英語で講義することを目指すなど、グローバル化に対応した教学マネジメントを実現
- 国際資源学の世界的教育・研究拠点形成と次世代型学部運営
- 獣医系4大学群による欧米水準の獣医学教育の実施によりアジアにおける中核スクールを創出

※文部科学省「平成24年度国立大学改革強化推進事業」(国立大学法人評価委員会総会 第43回配布資料, 2013年3月)より作成

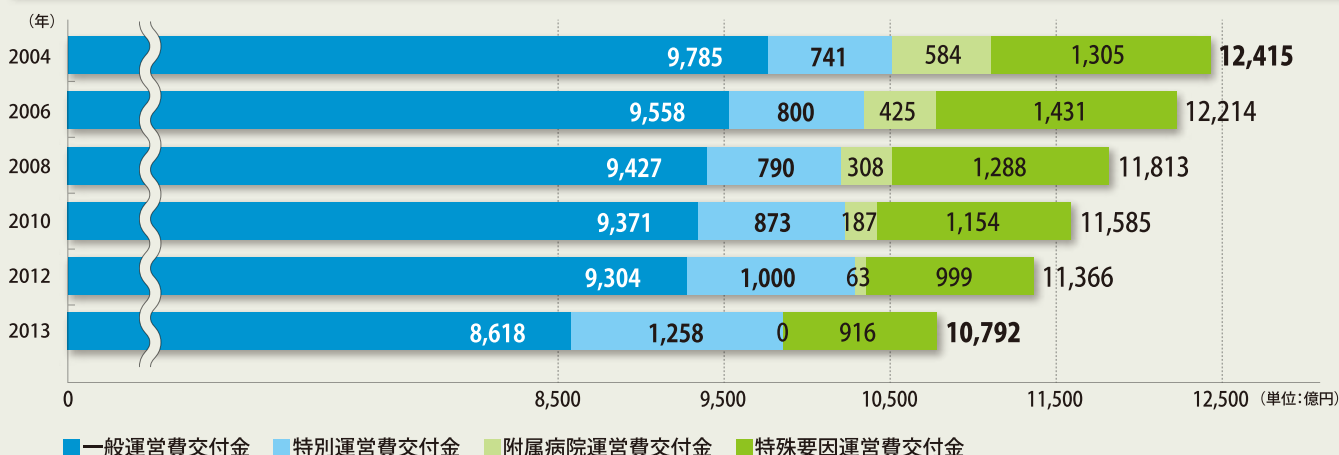
- 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業(グローバル30)7大学(全13大学)
- 博士課程教育リーディングプログラム38拠点(全44拠点)
- 世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)8拠点(全9拠点)

※文部科学省「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業 取組状況」(各年度版)、文部科学省・日本学術振興会「平成24年度 博士課程教育リーディングプログラムパンフレット」(博士課程教育リーディングプログラムフォーラム配布資料, 2013年3月)、日本学術振興会「世界トップレベル研究拠点プログラム 紹介パンフレット」(2013年4月)より作成

●国立大学の教育力・研究力を向上するためには、運営費交付金の確実な措置が必要です。

国立大学法人運営費交付金の推移

教育・研究・社会貢献の活動を支える運営費交付金は、9年間で1,623億円の削減



(注) 上記には復興特別会計上分は含まず。(復興特別会計上分2012年: 54億円, 2013年: 11億円) ※国立大学協会事務局調べ

「知の革新」を支え、世界をリードする国立大学の機能強化を推進するために、安定的・持続的な支援の拡充を強く求めます。



一般社団法人 国立大学協会
The Japan Association of National Universities
<http://www.janu.jp/>

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号(学術総合センター4F)
TEL 03-4212-3506 FAX 03-4212-3509 E-Mail info@janu.jp